

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第112日

外交政策。欧州委員会とウクライナの**インフラ省**は、道路輸送の自由化に関するEU-ウクライナ特別協定の最終文書に合意しました。協定は、許可なしにウクライナの航空会社による二国間および通過交通の履行を想定していました。これにより、ウクライナとEU間のロジスティクスが大幅に改善され、スピードアップします。ウクライナの港湾封鎖が西側国境の安定したロジスティクスに完全に依存している場合、この決定は特に重要です。

本日ブリュッセルで、**ウクライナ防衛コンタクトグループ**が会合し、ウクライナがロシアの侵略から身を守るために必要な次のステップを特定し、検討します。一方、国防副大臣の**アンナ・マリヤル**さんは、ウクライナはこれまでに要求された武器の10%しか受け取っていないと述べています。「ウクライナがどんなに頑張っても、西側の助けがなければ戦争に勝つことはできません。ウクライナが言ったこと、必要なことの10パーセントしか受け取っていませんでした」とマリヤルさんはテレソンの放送で語りました。

ウクライナのシナリオ 西側の当局者は、ウクライナでのロシア戦争における3つの潜在的な開発シナリオを検討しているとCNNは**報告しています**。ロシアは、ドネツク州とルハンシク州で引き続き勝利を収めることができるため、地域を徐々に支配する可能性があります。戦線は膠着状態に陥り、数か月から数年続く可能性があり、双方に多大な犠牲者を出し、世界経済の枯渇を続けるゆっくりとした危機につながる可能性があります。最も可能性の低いシナリオであるロシアは、戦争の目的を再定義し、勝利を達成したことを発表し、そして戦闘を停止させようとする可能性があります。今のところ、そのシナリオは希望的観測に過ぎないように思われる、と情報筋は言います。

ロシア当局は、ウクライナについて独自の計画を立てています。これには、3つの行政単位への分割が含まれます。ロシアの軍事特派員サーシャ・コッツは、サンクトペテルブルク経済フォーラムに表示された**地図**の画像を投稿しました。それは、戦争後のウクライナの行政区画分割のために提案された3年から5年の計画を描いていますが、と戦争研究所は**述べます**。提案された計画は、ウクライナの州をロシアの「領土地区」に分割し、ロシア当局がウクライナの領土をロシアに直接組み込むことを望んでいる方法を示唆しています。したがって、長期的な観点からは、これはむしろ、ロシアが現在のところを止めるつもりはなく、ウクライナの完全な「統合」を目指すことを示しています。

攻撃を受けている都市 アポストロボ市のドニプロペトロウシク州は、BM-27「ハリケーン」の砲撃を受けました。その結果、4人が死亡しました。ノボモスコフスク地区では、2発のミサイル攻撃がありました。インフラストラクチャーと家は深刻な被害を受けました。ドネツク州の砲撃は継続し、減少しません。33の民家、高層ビル、UTOSエンタープライズ、モーターデポなど、42の民間施設が損傷しました。

ルハンシク州では、ロシアの攻撃はシエビエロデンツクとリシチャンシクを狙って続けられています。ロシア軍は、すべての民間施設、特に工場を標的にしています。ヘルソン州で、絶え間ない砲撃のため、資源へのアクセスが制限されています。空襲防衛システムはリヴィウとテルノーピリ州のを目的とした**ミサイルを破壊**しました、いくつかの民間施設は爆風と破壊されたミサイルの残骸によって損害を受けました。リヴィウ州では、子供を含む6人が負傷しました。

人権。ザポリージャ地域では、別の身体交換ラウンドが行われました。ウクライナは、64人のアゾフ・スタリ擁護者の遺体を、身元確認と埋葬のために**返還**しました。

経済的安全。ウクライナの予算収入は、ロシアの侵略後の支出の半分未満をカバーしている、とロイターは**財務大臣のダニーロ・ヘトマンツェフ**に言及していると報告しています。与えられた条件を考慮して、より多くの外部の財政援助が到着しない場合、キーウは予算支出を大幅に削減しなければならないだろうと議会の財政委員会の長は言いました。以前、財務省は、ウクライナが支出ニーズを満たすために毎月50億米ドルを必要としていると報告していました。大臣は、政府が5月に1,010億フリヴニャ(34億2,000万ドル)の税金を徴収したが、軍に資金を提供し、家を離れることを余儀なくされた人々や家が破壊された人々を支援するために2,500億フリヴニャを費やさなければならなかったと言います。

制裁について言えば、ウクライナの副経済相の**タラス・カチカ**さんは、西側の制裁はロシアの経済に期待したほどの損害を与えていないと述べています。「ロシアは当初の予想よりも制裁に対して弾力性があるようです」と言いました。

食糧安全保障 ウクライナでのロシアの戦争はウクライナの農業に長期的な影響を**及ぼします**。進行中の侵略は、ウクライナの作物の多くを市場から遠ざけ、価格を記録的なレベルに押し上げることにより、少なくとも3年間にわたって世界的な小麦不足を生み出すと農業政策省大臣ムコラ・ソリスクイ氏がReutersへのインタビュー中に話しています。そうした中、EU加盟国は新規の収穫の穀物を保管するため一時的な穀物倉庫を提供することを**検討**します。米国のジョー・バイデン大統領は、より多くの穀物を輸出し、増大する世界的な食糧危機に対処するため、ポーランドを含むウクライナとの国境に沿って一時的な穀物倉庫を建設すると**述べました**。

キーウ経済研究学校(KSE)によると、ウクライナはロシアの侵略の結果として農地、機械、家畜に43億ドルの被害を被ったとBloombergが**報告**しています。戦争以来、約570万羽の家禽が戦争のせいで死亡し、6億1300万ドル相当の穀物がウクライナの占領地域から盗まれ、ロシアに送られました。

エネルギーセキュリティー ロシアは、ウクライナを侵略してから最初の100日間で化石燃料を世界中のに販売することにより、930億ユーロを稼ぎました。EUはこのうち61%、約570億ユーロで輸入したとエネルギーとクリーンエア研究センター(CREA)の

新たに発表された報告書によります。多くの国と企業がロシアの供給を避けたため、5月の輸入は侵略前と比較して約15%まで緩やかに減少しました。ポーランドと米国は、ロシアの収益に最大の打撃を与えました。リトアニア、フィンランド、エストニアでは、50%を超える大幅な削減率が達成されました。

6月14日の時点で、ウクライナの約742の集落と合計約61万8千の消費者は、戦闘による被害のため電気供給がないままになっています。もっと具体的には、ドネツク地域は35万7千人以上、ルハンシクは12万8千2百人以上、ハルキウ州では、約4万8千5百人の消費者がいます。18万千人の消費者がガス供給なしで残っています。

#### 読書コーナー

- [UK's strong Ukraine support hides a less glorious past | Chatham House – International Affairs Think Tank](#)
- [Russia's fossil fuel revenue about \\$100 billion in 100 days of war, report says - The Washington Post](#)

#### 総計情報

- 2月24日以降、ウクライナ国家緊急事態省は、1988の航空爆弾を含む134895個の爆発装置を無力化しました。
- 国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) は、ウクライナでの一般市民の犠牲者は9931人(死亡者4432人、負傷者5499人)と発表しました(6月13日深夜現在)。OHCHRは、実際の犠牲者数ははるかに多いと考えています。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年6月15日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約32,750人、戦車1440台、装甲戦闘車両(APV)3,528台、砲兵システム722台、多連装ロケットシステム(MLRS) 230台、対空戦システム97台、固定翼航空機 213台、ヘリコプター 179台、軽装甲車2,485台、ポートおよび軽装ポート13台、運用戦術レベル UAV591台、特殊装備55台、移動式短距離弾道ミサイルシステム129台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 人道支援センターの[ウェブサイト](#)をお読みください。
- 精神障害のある人を雇用している「[Good Bread for Good People](#)」というパン屋をご支援ください。パン屋の人はキエフ市に残った人のためにパンを造っています。
- あなたの近くにある[人道センター](#)を支援してください。
- ここに旅行したことがあるか、友達がいるかに関わらず、ウクライナについてのストーリーを共有してください。ウクライナに関する情報を広めてください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。